

## 令和5年度第5回 市政懇談会（会議要旨）

|     |   |
|-----|---|
| 日時  | 令和5年9月28日（木） 18時30分 ～ 19時30分  |
| 場所  | 西宇部ふれあいセンター   |
| テーマ | ①地域の活性化 ②防災   |
| 出席者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 篠崎市長</li> <li>○ 厚南地区代表者（5名）<br/>厚南地区コミュニティ推進協議会 会長<br/>際波台自治会長<br/>宇部市民生児童委員協議会 副会長<br/>厚南7区自治会長<br/>厚南地区自治会連合会 会長</li> <li>○ 西宇部地区代表者（5名）<br/>西宇部地区コミュニティ推進協議会 会長<br/>西宇部地区自治会連合会 会長<br/>西宇部地区体育振興会 会長<br/>西宇部地区民生児童委員協議会 会長<br/>おいこら気ママ館 代表</li> <li>○ 事務局（総合政策部広報広聴課、厚南市民センター、隣保館厚南会館、西宇部ふれあいセンター、地域支援員）</li> <li>○ 関係課（防災危機管理課、市民活動課、こども政策課、保育幼稚園課）</li> </ul>   |
| 内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年4月から地域活動の日が始まったが、若い方の参加につながっていない。次代を担う若い方が地域活動に参加し、地域活動が活発になるよう働きかけていきたい。また、他の地区の状況も知りたい。（西宇部地区コミュニティ推進協議会 会長）<br/>→地域活動の日によって、地域活動へ参加するきっかけはできた。インセンティブ付与等、地域活動に興味がない人が地域活動に参加する仕組みづくりに取り組んでいきたい。地域に応じた地域活動のスリム化も必要と考えている。各地区の活動状況は、宇部市地域応援サイト「チイキのチカラ」で情報共有していきたい。（市長）</li> <li>○ 認知症 SOS 模擬訓練という取組をしている。（西宇部地区自治会連合会 会長）<br/>→他の地区でも共有していきたい。（市長）</li> <li>○ 西宇部小学校の屋外トイレを洋式化してほしい。（西宇部地区体育振興会 会長）<br/>→学校の屋内トイレの洋式化が今年度で一段落する。今後、優先順位に応じて屋外トイレの洋式化も進めていきたい。（市長）</li> <li>○ 西宇部ふれあいセンターに屋外配電盤を設置してほしい。（西宇部地区体育振興会 会長）<br/>→今後、優先順位に応じて整備していきたい。（市長）</li> <li>○ 地域に根差した学童保育クラブを設置、運営していきたい。（西宇部地区民生児童委員</li> </ul> |

協議会 会長)

→地域で運営する学童保育クラブの設置について、しっかりサポートしていきたい。  
学童支援員の資格取得のための研修が年1回しかないため、人材確保のために回数を増やすよう県と連携して取り組みたい。(市長)

- 子ども食堂を運営している。社会福祉協議会から助成金を受けているが、材料費には使えない。物価高騰もあり、運営が厳しい。(おいこら気ママ館 代表)

→子ども食堂を利用する人は限定的なため、公平性の観点から食材費の助成は難しい。  
県の助成制度を活用してほしい。(市長)

- 子育てサークルも運営している。妊娠中からサークルに参加すると、地域とのつながりもでき、出産後も子育てが楽になると思う。(おいこら気ママ館 代表)

→妊娠を希望する方に葉酸のサプリメントを配布している。そういう方に子育てサークルを周知し、産前産後のケアを充実させていきたい。(市長)

- 令和3年10月に厚南地区で防災・減災に関するアンケートを実施したところ、課題が浮き彫りになった。(厚南地区コミュニティ推進協議会 会長)

際波台には避難所としても活用されている自治会館があるが、老朽化し修繕費がかさんでいる。補助金の上限や期間を撤廃してほしい。(際波台自治会長)

→令和4年度に緊急避難場所、避難所に指定されている自治会館のバリアフリー化工事の助成金の上限を引き上げた。避難所のトイレの浄化槽設置については、市議会でも提案をいただいたため、緊急性に応じた補助制度の拡充を段階的に進めていきたい。自治会館の補助については、国の制度もあるため活用を検討してほしい。(市長)

- 災害時のICTツールを活用した避難誘導、安否確認、連絡体制を提供してほしい。(際波台自治会長)

→ICTツールの活用については、今後策定予定の宇部市DX推進計画の中で検討していきたい。地域計画として実証事業の意向があれば、地域創生事業助成金の活用を検討してほしい。(市長)

- 3m以上の高潮の場合は、市民センター、ふれあいセンターともに浸水してしまう。指定緊急避難所を厚南中学校、宇部商業高校、宇部鴻城高校に見直してほしい。また、避難時には皆車で移動するため大渋滞が予想される。厚南は道路が狭い箇所が多いため、道路整備が必要だと思う。(宇部市民生児童委員協議会 副会長)

→宇部商業高校、宇部鴻城高校とは協定を締結しているが、緊急避難場所にはなっていない。避難者が出た場合の役割分担や運用について、高校と協議を進めて整理していきたい。避難場所には歩いていくことを推奨しているが、厚南地区の課題である道路問題解消に引き続き取り組んでいきたい。(市長)

- 厚南4地区には宇部市の人口の20%にあたる約34,000人が住んでいる。厚東川が氾濫したら、厚南4地区の居住エリアの80%が浸水する恐れがあるため、厚東川の治水を進めてほしい。(厚南7区自治会長)

→管理者である県に浚渫工事を進めるよう、引き続き要望していきたい。危険な場所については、ネイティブ宇部を活用して情報提供してほしい。(市長)

|     |   |
|-----|---|
|     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中野自治会のエリアには、宇部総合支援学校やこのみ園がある。災害時の避難サポート体制の構築をお願いしたい。(厚南地区自治会連合会 会長)<br/>→県教育委員会や障害福祉課と協議を進めていきたい。(市長)</li> <li>○ 厚東川橋の解体を進めてほしい。(厚南地区コミュニティ推進協議会 会長)<br/>→引き続き解体に向けて検討を続けていく。(市長)。</li> <li>○ 学校に非常食等の防災グッズの保管を一カ所に集約したい。(西宇部地区自治会連合会 会長)<br/>→学校施設の管理者である校長判断にはなるが、公共施設の効率的な活用の必要性は感じている。(市長)</li> <li>○ 今後人口減少が進むなかで、団地内の合併浄化槽の修繕が各地区で問題になることが予想される。市としては、個人で浄化槽を設置する方向が良いのではないかと考えている。今後、ご相談やご提案をさせていただくので、ご意見をいただきたい。(市長)</li> </ul> |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大規模災害時に避難所として使用する協定を締結している市内の高校と、避難者が出た場合の役割分担や運用について協議する。</li> <li>○ 宇部総合支援学校やこのみ園の避難時のサポート体制について関係機関と協議する。</li> </ul>  |